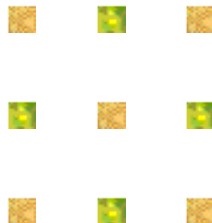


アナリ-ゼ
波動分析報告書／解説

エナジーナキソ TQ-K

2021年1月15日

株式会社YJU 様



アクアタック研究室
代表／片岡 章

〒 201-0004

東京都狛江市岩戸北 3-8-11-401

Tel, Fax : 03-3480-9618

E-mail : aquatack@msc.biglobe.ne.jp

HP : <https://www.aquatack.com>



- ◆ 当報告書は、エナジーナキーン TQ-K の“波動エネルギーによる作用”に関するものです。
 “物質としての作用”に関しては、従来の化学分析などからご判断ください。
 また、**効能を保障するものではなく**、波動値から導かれる**ひとつの見解・解釈**を記したものであること、ご承知おきください。

【解説の要約】

エナジーナキーン TQ-K の波動に関する作用・特徴は以下のとおりです。
 詳細については、次ページ以降をお読みください。

I. 作用する波動帯域 (波動の高さ から見た特徴)

1. 直接には精神波動の帯域を活性化し、2次的、3次的に、感情や身体の波動をコントロールする
2. 自然食品店などが扱うサプリメントのなかでも、とりわけ高波動であり、そのレベルを望む人の要求に応えられる

II. 作用の特徴・パターン (項目間の数値の違い から見た特徴) — 上記の波動帯域における働きとして —

1. 項目間格差によるリスクがなく、誰もが安心して使用できる
2. 際立った特徴
 - 1) 開発意図が端的に実現されている
 (水素・炭酸カルシウム・ソマチッド)
 - 2) 恒常性 (ホメオスタシス) を盤石にする
 - 3) 血液の力を高める
 * 上記 1)~3) が、全身を支えるベースとなっている
 - 4) 消化器系を活性化する
 - 5) 肌を健やかにする
 - 6) 会社の理念が反映されている

I. 作用する波動帯域

(波動値の高さ から見た特徴)

最大値 = S +68.1 平均値 = S +67.9 最小値 = S +67.4

(S +68.1 は、これまでに測定されている最も高い数値とおなじものです)

1. 《活性度》… 波動値の高さ

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔測定値から導かれる指標（統計量）〕
 > 1. 《活性度》… 波動値の高さ
- ▶ 添付資料『物品・製品の波動値（人への作用）』（波動値の高さの意味）

一般に、波動の高低による違いは、つぎのように捉えることができます。

波動が高い … 周波数が高く、振動が微細で活発。活性度が高い。
 より精神的。深く根本的な作用。

波動が低い … 周波数が低く、振動が緩やかで不活発。活性度が低い。
 より物質的。浅く対症的な作用。

ただし、使用する人がその波動に共鳴しない（惹かれない）場合は、これらの働きを享受することが難しいです。

この前提から、エナジーナキーン TQ-K については、下記の作用^{メカニズム}機序が想定されます。

- 精神波動の帯域を活性化する。
- 2次的に、感情波動（好き／嫌い、損／得など）をコントロールし、3次的に、身体（生命）波動をコントロールする。
- これらを総合した作用として、感情波動のアンバランスに起因する、心理面や人間関係上の問題・身体的不調などの解消を助ける。

* ホルモンバランス、肝臓など身体に関するものであっても、その各々に呼応する身体（生命）波動、感情波動、精神波動の^{フィールド}場が背後にあると考えております。

2. 世間の製品のなかでの位置

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > **〔世間の製品の状況Ⅰ 《活性度（波動値の高さ）》〕**

「世間の製品の状況Ⅰ」には、自然食品店で扱われているサプリメント（A群）の波動の高さとして、平均値を中心に、約70%が分布する範囲を図示してあります。

このなかで **エナジーナキン TQ-K** の平均値 **S +67.9** を見ますと、A群サプリメントのなかでも、かなり上位に位置することがわかります。ここから、

**自然食品店などで扱われているサプリメントのなかでも、
とりわけ波動の高い製品であり、
そのレベルを望む人の要求に応えられるものである**

と推測することができます。

ただし、一般的な事実として、その波動レベルに共鳴する人は少なく、そのため、それを望むのは世間の一部の人に限定されやすい、という傾向はあります。

Ⅱ. 作用の特徴・パターン

(項目間の数値の違い から見た特徴)

〔Ⅰ. 作用する波動帯域〕に見られた“波動値の高さによる評価”はひとつの重要な観点ですが、同時に、“項目間の波動値の違いによる評価”も欠かせません。以下は、この後者の詳細を記したものです。

これら双方の観点から分析することにより、製品の特徴を立体的に捉えることができます。

1. 《安心度》… バランス

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔測定値から導かれる指標（統計量）〕
 > 2. 《安心度》… バランス
- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔世間の製品の状況Ⅱ 《安心度（バランス）》〕

一般に、項目による数値の違い（ばらつき）は、つぎのような性質を示唆しています。

数値間格差が小さい（《安心度》が高い）

全体的に一様に働く
 そのため、適／不適のリスクも小さい
 食品的な働き方

数値間格差が大きい（《安心度》が小さい）

波動値の突出した項目に示される働きが鋭い
 そのため、適／不適のリスクが大きい
 医薬品的な働き方

エナジーナキーン TQ-K の《安心度》は **9.95** でした（最高値は 10.00）。

ここから、前述の“波動の高さ”による“共鳴する／しない”はあるにせよ、**誰もが安心して使用できる製品である**、ということができます。

2. 際立った特徴

- ▶ 『波動分析報告書／測定値』 > 〔波動分析報告書／測定値〕の表（61 項目）

すでに、61 項目すべてが高値を示しております。したがって、〔神経組織〕〔電磁波障害（を解消する力）〕〔放射線障害（を解消する力）〕も含め、いずれについても、優れた働きが期待できます。

つぎに、そのなかでも中心をなす特徴を見ていきますが、最大値を示した項目のみでも全体の半数を占めますので、これらを抽出し、そのなかから特徴を見出していくことにします。

抽出した結果は、下記のとおりです。¹

- ① [水素] [ATP (アデノシン三リン酸)] [炭酸カルシウム] [ソマチッド]
[ミトコンドリア]
- ② [恒常性維持力・免疫力] [副交感神経] [ホルモンバランス]
- ③ [栄養バランス] [抗酸化作用]
- ④ [血液] [白血球]
- ⑤ [中枢神経 (脳・脊髄)] [血管] [胃] [腸管] [腸内細菌叢] [脾臓] [皮膚]
[肌のきめ] [肌の潤い]
- ⑥ [ストレス] [冷え症] [だるさ・倦怠・疲労] [肥満症] [悪性腫瘍 (がん)]
[アレルギー] [パーキンソン病] [動脈硬化] [炎症性リウマチ]
- ⑦ [幸福・愛] [感謝]

ここで、ごく簡単な見方をするならば、波動値の高い項目ほど働きが大きい、という判断になります。したがって、上記のいずれについても、波動的に大きな改善作用が見込まれます。

しかし、単独の項目ではなく、関連する複数項目の間での符合・一致を見ることにより、確率的に、一層確かな特徴・傾向を浮かび上がらせることができます。

以下は、そのようにして導き出したものです。なお、特徴・傾向は、概ね、働きが大きいと考えられるものから順に記してあります。

各見出しの下に併記されているのは、その根拠となった [項目] です。

1) エナジーナキーン TQ-K の開発意図が端的に実現されている

- ① [水素] ~ [ミトコンドリア]、② [恒常性維持力・免疫力] ~ [ホルモンバランス]
- ③ [抗酸化作用]

グループ①は、**エナジーナキーン TQ-K** の核をなすものですが、これらがすべて最高値となっております。また、水素の大きな働きである [抗酸化作用] も同様です。

水素による、抗酸化作用・ATP 産生の補助作用、炭酸カルシウムによる、恒常性の強化 (グループ②)、水素・ソマチッド・ミトコンドリアの連携と ATP、など、**エナジーナキーン TQ-K** の特長が明確に浮かび上がっており、開発の意図が端的に実現されているといえます。

なお、炭酸カルシウムに期待される [骨] [骨粗鬆症 (を解消する力)] などは上記に入っておりませんが、波動値そのものは高く、直接の波動的作用として十分なものがありますので、そこに炭酸カルシウムの作用も加わるならば、間接的に十全な結果をもたらすはずで

¹ たとえば、[ストレス] は“ストレス (の波動を解消する力)”を、[糖尿病] は“糖尿病 (の波動を解消する力)”を意味しています。つまり、プラス値であれば、“その波動を解消する力がある”こととなります。このように、いずれの項目も、プラス値は、「望ましい波動がどれくらい活性化しているか」を示しています。

2) 恒常性（ホメオスタシス）を盤石にする

② [恒常性維持力・免疫力] [副交感神経] [ホルモンバランス]

グループ②は、恒常性に関するものですので、恒常性維持の働きにも大いに期待できます。

なお、ここには、グループ②に該当する[交感神経]が入っておりませんが、S+67.9であったためです。ですが、誤差程度の、きわめて小さな違いですから、実際には、[交感神経]もここに含まれていると考えて差し支えありません。

3) 血液の力を高める

① [ソマチッド]、④ [血液] [白血球]

血液中にあって生命体に命を与えているといわれるソマチッドや、白血球、これらとともに、血液全体の力を強化していきます。

* 上記 1)~3) は、身体全体を支え続ける、いわば通奏低音、OS (オペレーティングシステム) です。
エナジーナキーン TQ-K は、S+68.1 に至らなかったところにも直接に十分な好影響をもたらしますが、加えて、1)~3) が、それらを間接的にサポートします。

4) 消化器系を活性化する

⑤ [胃] [腸管] [腸内細菌叢] [膵臓]

消化器系に属する5項目のうち4項目が S+68.1 であり、唯一含まれなかった[肝臓]も、僅差の S+67.9 です。消化器系全体への働きも、大きなものがあると見てよいでしょう。

また、[腸内細菌叢] は、上記 1)~3) とともに、全身を支える力でもあります。

5) 肌を健やかにする

⑤ [腸内細菌叢] [皮膚] [肌のきめ] [肌の潤い]

腸内細菌叢活性化の作用と相まって、皮膚の健全化にも貢献します。


実際、体験者からは、肌がきめ細かく潤った、との声が寄せられておりますが、これらの数値は、その裏付けとなっております。

6) 会社の理念が反映されている

⑦ [幸福・愛] [感謝]

これら精神波動の数値は、製品の製造・販売に携わる人や会社の想い、姿勢を映し出します。そして、幸福や感謝の波動が高い場合は、個人や会社に都合のよい幸福や感謝ではなく、その周囲の人々、あるいは社会にまで自然に伝播していく幸福や感謝となります。

その意味で、ここには会社の理念が反映されている、とってよいのではないのでしょうか。

 参考にした資料

■ 全般

株式会社YJU ホームページ

<https://www.yju.co.jp>

■ 水素・炭酸カルシウム

技術セミナー資料『21世紀は水素の時代 低温吸蔵水素カルシウム』

ロイヤルアズ株式会社、日本予防医学推進委員会

■ ソマチッド

『まだ誰も知らない《水素と電子》のハナシ』

内海聡・松野雅樹・小鹿俊郎／著、ヒカルランド

『聖なる科学』 実藤 遠／著、成星出版

■ レビュー

いい値本舗オンラインショップ／エナジーナキン TQ-K

<https://www.iine-honpo.com/tqecshop/products/detail/57#reviews>